

2026年の神美クイズは「知っとこ！神美」にヒントがあります今後も使用するので保存しておいてね！

振興部の

知っとこ！神美 2026年7月号

知っておいてほしい神美を紹介します。

たちばなの郷
神美裏路地探検

森尾

1. 森尾古墳

但馬最古の森尾古墳にロマンを感じながら巡る

豊岡市森尾 3世紀後半～4世紀前半

卑弥呼の鏡に出会える里 森尾

●県指定文化財 出土品(考古資料)

3世紀後半から4世紀前半の古墳で、1917年(大正6)に発見された。

発掘された青銅鏡は「三角縁神獣鏡(さんかくぶちしんじゅうきょう)」で

(卑弥呼の鏡と言われる)、一面には中国の年号である「正始(せいし)

元年」(240年)で始まる文字が刻まれている。同じ銘の入った「三角縁神獣鏡」が群馬県と山口県でも出土している。

また、2002年(平成14)には、大正期に見つかった鏡のひとつが、1世紀に中国でつくられた、北近畿で最古級の

「方格規矩四神鏡(ほうかくきくししんきょう)」であることがわかった。

但馬最古の古墳で豊富な銅鏡等 107 点の出土品が平成 15 年 3 月 25 日に

“考古資料”として兵庫県指定の文化財として登録されています。中でも

「三角縁神獣鏡」は北近畿最古の卑弥呼の鏡かともいわれまた「方格規矩四

神鏡」は中国から伝来の鏡。昭和 52 年 11 月 1 日に“史跡”の部で豊岡市より

文化財の指定を受ける。(森尾古墳跡 1 基)

(引用 但馬事典)



森尾古墳

2. コウノトリ巢塔

森尾地区の中心にあります。



3. 平尾家住宅

平尾家は江戸時代に大庄屋を務めた但馬屈指の大地主で、約 4,000 m²の敷地内には

大小約 20 もの建物が点在。森尾地区のほぼ中央に立地している。主屋は 1896 年

(明治 29)の建築で、豊岡の宮大工によるものだと言われている。1790 年(寛政 2)

建築の新蔵、1826 年(文政 9・明治期改修)建築の離れなど、江戸時代の建物が今も

残っている。敷地の内外は幾重にも塀や門で仕切られ、

主屋の周囲には隠居屋、蔵、小屋などが建ち並ぶなど、江戸時代から昭和の初めに

かけて代々整えられ、受け継がれてきた屋敷構えが良好に残っている。また、敷地内を森尾川が流れ、屋根の付

いた立派な川いとが設けられている。かつてはこの場で洗い物や洗濯などが行われていた。(引用 但馬事典)



平尾家住宅

4. 阿牟加神社・清峯神社

別々の場所にて祀られていた清峯(きよみね)神社、阿牟加(あむか)神社と

地下(ぢげ)神社が昭和 27 年 4 月 17 日(式内社調査報告書によると昭和 38

年)に合祀されたとの記録が残っています。また大谷神社も合祀されていま

す。阿牟加神社は式内社。元の鎮座地は森尾小字アンガ。

御祭神:天穗日命(あめほひのみこと)(天湯河板舉(あまのゆかわたな
のみこと)あるいは物部十千根命(もののべのとおちねのみこと)) 中でも

清峯神社の祭神は清彦命(きよひこのみこと)で、清彦命は日本書紀によれ

ば天日槍(あめのひぼこ)の孫で田道間守(たじまもり)の父、古事記では天

之日矛(あめのひぼこ)の曾孫(ひまご)で多遲麻毛理(たじまもり)の弟と記さ

れています。現在祭りは4月の第2日曜日に執り行っていますが、元々は

4月18日が祭日で、翌19日が田道間守命を祀っています中嶋神社の祭

日です。



阿牟加神社・清峯神社

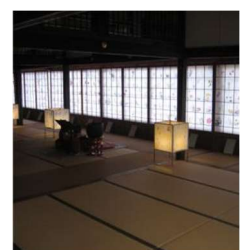


5. 盛重寺

臨済宗南禅寺派の寺

本尊

千手観世音菩薩



盛重寺(障子に描かれた花絵)